

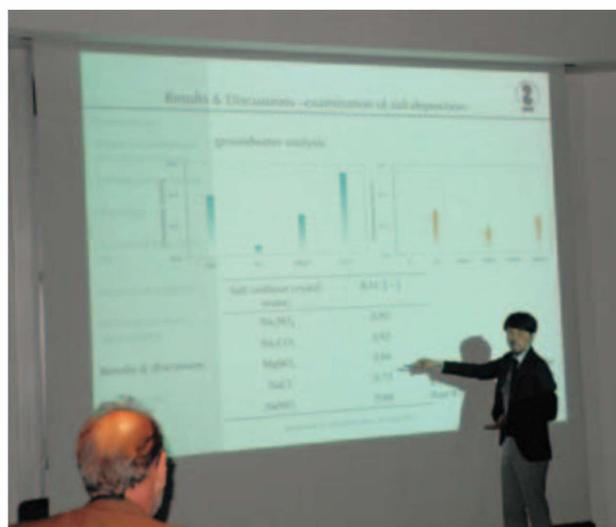
## ✿ コロンビア大学との研究交流

奈良文化財研究所は、2011年からニューヨーク市のコロンビア大学中世日本研究所並びに建築・計画・保存大学院と、研究協力および交流をおこなっています。コロンビア大学は1754年に創立された全米で5番目に古い大学で、様々な分野で高い水準の研究がおこなわれています。昨年に引き続き、今年も奈文研から2名の研究者が現地へ赴き、研究成果を発表し、コロンビア大学の先生方や学生と議論を交わしました。

発表は、9月25日の夕方から、コロンビア大学のエイヴリー・ホールの一室でおこなわれました。まず、平澤毅遺跡整備研究室長が、“Protection of ‘Places of Scenic Beauty’ (Meisyoh／名勝) in JAPAN”（「日本における名勝の保護」）という題目で話をしました。続いて、脇谷草一郎保存修復科学研究室研究員が“Study on Heat and Moisture Movement in Openly Exhibited Soil Structural Remains”（「露出展示された土質遺構における熱・水分移動に関する研究」）という題目で発表しました。

それぞれの発表の後におこなわれた質疑応答では、文化財の保護制度や保存技術等について議論が交わされました。プログラム終了後には、ワインとチーズによる歓迎会が開かれ、和やかな雰囲気の中で、引き続き意見交換がおこなわれました。

コロンビア大学との研究協力および交流では、協力体制を強化しながら、今後も2015年度まで毎年2名程度の研究者が奈文研から現地へ赴き、日本の文化財研究の様々な成果を発信していくことになっています。（文化遺産部 青木 達司）



発表の様子